

## 【文化生活部】令和8年度当初予算 予算見積総括表

### 令和8年度予算の基本方針

文化生活部では、「文化芸術の振興を図り、心豊かに生き生きと暮らせる県づくり」を目指して、施策を推進しています。令和8年度は、県政の最重要課題である「人口減少」や「中山間地域の再興」の観点から施策をさらに強化し、「よさこい高知文化祭2026」に向けた取組や多文化共生施策などを推進します。

### 一般会計

令和8年度予算見積額	15,615,518 千円
令和7年度当初予算額	14,597,868 千円
差引増減額	1,017,650 千円
対前年度比率	107.0 %

(注) 上記には、人件費を含まない。

**拡充**

## ①よさこい高知文化祭開催事業（県実行委員会負担金） 788,555千円(504,055千円)

「よさこい高知文化祭2026」の開幕に向けて、気運醸成を図るための広報活動の強化や市町村の文化芸術振興の取組への支援を行うとともに、開・閉会式の準備及び運営などを実施

- 主な拡充内容
  - ・県が実施する文化関連イベント等の開催経費
  - ・市町村の文化芸術振興の取組への支援を強化
  - ・広報大使による大会PRやプレイベント開催などによるプロモーション強化 など
- 期待される効果
  - ・文化芸術のさらなる振興と中山間地域等に伝わる伝統芸能の再興・継承 など



- 【大会期間】R8.10.25（日）～12.6（日） 43日間
- 開会式（10/25 春野総合運動公園）、閉会式（12/6 県民文化ホール）
  - 地域文化発信事業
    - ・県内全市町村において、文化芸術に関するシンポジウムや神楽などの伝統芸能、産業祭などの食関連イベントといった、200を超える多彩なプログラムを開催予定
  - 文化交流事業
    - ・全国的な文化団体と7市が連携し、音楽や演劇、舞踊などの26事業を展開

**拡充**

## ②高知城保存整備事業 61,891千円(35,647千円)

高知城の保存活用・整備に向けた有識者会議の開催や、石垣の基礎データ整備などの耐震対策を推進

- 主な拡充内容
  - ・保存活用に向けた有識者会議の開催
  - ・石垣に関する基礎データの整備や石垣カルテの作成
- 期待される効果
  - ・有識者の意見を聴取することで、文化財の保存と観光資源としての活用の両立を促進
  - ・石垣の状態を把握し、必要な耐震対策につなげる

**拡充** **人口減少** **創造枠** **グローバル**

## ③多文化共生施策のさらなる推進 96,356千円(78,657千円)

外国人材に「選ばれる高知県」を目指し、日本語教育に関する事業者支援や「ウェルカムパッケージ」の整備などの新たな取組を通じて、外国人材をはじめとする外国人県民のさらなる定着を促進(受入施策と両輪で施策を推進)

- 主な拡充内容
  - ・「ウェルカムパッケージ（多言語版生活ガイドブック）」の整備
  - ・日本語教育を推進する事業者等への支援
  - ・医療通訳サービスの利用促進（リーフレット作成） など
- 期待される効果
  - ・日本で生活するうえで必要な各種手続きやルール等のさらなる理解促進
  - ・外国人材等の日本語能力向上によるさらなる定着の促進
  - ・医療機関での円滑なコミュニケーションを実現

**拡充** **グローバル**

## ④国際交流推進事業 48,226千円(48,226千円)

友好交流や海外県人会等との交流を促進

- 主な国際交流行事
  - ・韓国（全羅南道姉妹協定10周年記念訪問団の派遣・受入）
  - ・パラグアイ（県人会創立50周年及び日本人移住90周年記念訪問団の派遣）
  - ・ミクロネシア（行政訪問団の派遣）
  - ・アメリカ（サクラメント県人会創立80周年 など）

**新規** **人口減少** **創造枠**

## ⑤県内高等教育機関の魅力発信事業 8,000千円(8,000千円)

県内高等教育機関が一堂に会する合同説明会の開催や、「県内進学ガイドブック」の作成などを通じて、広く県内高等教育機関の魅力を発信し、若者の県内定着の促進と県内高等教育機関の定員充足率を向上

- 期待される効果
  - ・県内高等教育機関の魅力発信により、県内で学ぶ若者が増え、卒業後の県内定着の促進と定員充足率を向上